

XI. 入国ポリシー

入学生は特別就学許可証(SSP)とビザの延長のためにパスポートを学校に預ける必要があります。学生は SSP のコピーを要求できますが原本はリクエストできません。

学生は両替、旅行するためにパスポートを一時的に請求できます。その場合、パスポート請求フォームに、請求目的と日数を記入する必要があります。

個人的な保管のためにパスポートを請求したい学生は、必要書類に署名し、自己責任を負わなければなりません。パスポートの紛失に関しては、学校は一切責任を負いません。

1. 59日以上滞在する学生は、外国人登録プログラム(ARP)のためにリエゾンオフィサー（アドミンスタッフ）を伴って入国管理局に行く必要があります。
2. パスポートは出発（卒業）の前日に請求できます。

注) SSPとビザ延長の手続き

時間は、入国管理局によって異なります。また、価格は予告なく変更される場合があります。

XII. キャンセル、返金ポリシー

・ご出発前

1. 学生は、出発の4週間前にキャンセルした場合、授業料の全額返金(100%)されます。
2. 学生がピックアップ日の2〜3週間前にキャンセルした場合、授業料(授業料+寮費-プロモーション)の80%が返金されます。
3. 学生がピックアップ日から1週間以内にキャンセルした場合、2週間の授業料(授業料+寮費-プロモーション)を除いて、残りの期間の80%が返金されます。
4. 学生がピックアップ日以降にキャンセルした場合、残りの期間の50%が返金されます。
5. 登録料は返金されません。

・出発後

1 学期以内の学生

1学期(4週間)以内の留学は返金されません。

1 学期以上在籍する学生

1. 学生がプログラムの開始から3週間以内にキャンセルした場合、最初の4週間を除いて、残りの期間の50%が返金されます。
2. 学生は留学の3週間経過後に払い戻しを受けることはできません。
3. ビザ延長代金、テキストブック、学食などの費用は、未使用の場合は返金されますが、手続き処理後、または使用後は返金されません。

・その他

1. 留学期間が4週間以内の場合、返金はされません。

2. 近親者の死亡時、また学生が手術や身体障害などの即時の治療が必要な病状、およびフィリピンの医療サービスの対象とならないもの(診断書付き)など、不可抗力の場合、学生は次のオプションから選択できます。

- ① 週途中の残りの日数は没収されますが、登録された残りの週の 50%が返金されます。
- ② 学校は学生のスロット(枠)を保留にし、問題解決後、学生は戻って勉強を続けます。

・返金不可

1. 軽度のアレルギー/病気。
2. 既存の環境に対応できない
3. メンタルヘルス
4. プロモーションを利用した場合
5. 退学
6. 出発するよりも前にただちに出発する必要があったが、プログラム開始から少なくとも3週間前に通知しなかった場合

・払い戻しプロセス

1. 払い戻し申請書に記入し、受領後1か月以内に処理します。
2. プロモーション額は、払い戻しの計算から差し引かれます。
3. 銀行送金にかかる手数料などは学生負担となります。

・出発前の新型コロナウイルス(COVID-19)に関するポリシー

COVID-19 罹患のために国から出国できない場合:

1. 日程変更の申請は可能ですが、変更に係る費用は学生負担となります。
2. キャンセル・返金を希望される場合は、本校のキャンセル・返金ポリシーに基づきます。

・WALES が予測不可の出来事のために運営できない場合

1. WALES の経営陣の裁量により、フィリピンの地方自治体の合意がある場合に、学生がキャンセルまたは帰国を選択した場合は、学校の返金ポリシーにもとづいて処理されます。
2. 学校が運営を中止することを選択した場合、残りの学期分が全額返金されます。

XIII. フィリピンの COVID-19 規定

・マスクプロトコル

1. 医療施設、医療輸送車両、陸路、空路、海路による公共交通機関を除く屋内および屋外のスペースでのフェイスマスクの自発的な着用。
2. マスクの着用は、高齢者、併存疾患のある人、免疫不全の人、妊婦、ワクチン未接種の人、および症状のある人には引き続き奨励されています。

注) 教室、および学校内では咳などの症状がある場合はマスクの着用をお願いします。

学生は定期的に体温を自己管理し、発熱、喉の痛みなどの症状があればすぐにアドミンオフィスに報告する必要があります。(実際の状態を正直に報告してください)

・検査キットのプロトコル

Q.誰が検査対象となりますか？

1. 軽度の症状だが疑わしい症状がある、リスクが高くないと判断されるケース
→すぐに隔離する(部屋隔離とオンラインクラスの受講を推奨)
2. 無症状罹患者との密接な接触がある、リスクが高くないと判断されるケース
→検査と隔離は任意。

Q.COVID-19 注意観察の対象となる人

特にA2(高齢者)、A3(併存疾患があり、免疫不全の人)、および病気のリスクが高い人。

注) 学校は抗原検査キットを有料で提供します。300 ペソ / 1 回分

・検疫および隔離プロトコル

【検疫】

無症状の濃厚接触*

ワクチン接種を受けた個人-0日

部分的にワクチン接種済みまたは未接種-接触から少なくとも14日間

すべての無症候性の密接な接触者は、症状のモニタリングを14日間継続し、マスクの着用、ソーシャルディスタンスをとる必要があります。

【隔離措置期間】

・無症状および軽度の症状 がある場合

ワクチン2回接種済の学生…検査キット後から7日、または兆候や症状の発症からいずれか早い方から7日

1回ワクチン接種済みまたはワクチン未接種の学生…検査キット採取日から10日、または兆候や症状の発症からいずれか早い方から10日

・中等度の症状がある場合

ワクチン接種状況に関係なく、兆候や症状の発症から10日間隔離する必要があります

・重篤な疾患および免疫不全 がある場合

ワクチン接種に関係なく、兆候や症状の発症から21日間隔離する必要があります。

-----2022年9月17日更新)

注) 隔離期間は、抗原検査の結果や学生の体調によって異なります。

【隔離期間中】

1. 陽性のcovid-19学生がシングルルームを使用している場合はその部屋で隔離されます。
学生がシェア寮に滞在している場合、学生は差額料金でシングルルームに移動します。
2. 学生はカフェテリアから食べ物を利用することができますが、有料です。
またはフードデリバリーサービスを利用できます。

隔離期間中、学生は滞在期間内にオンラインクラスを選択するか、クラスを補講かを選択することができます。長期隔離により補講クラスを実施できない場合、返金はありません。